

環  
る

JIA 2023

JIA建築家大会2023東海in常滑

TOKONAME

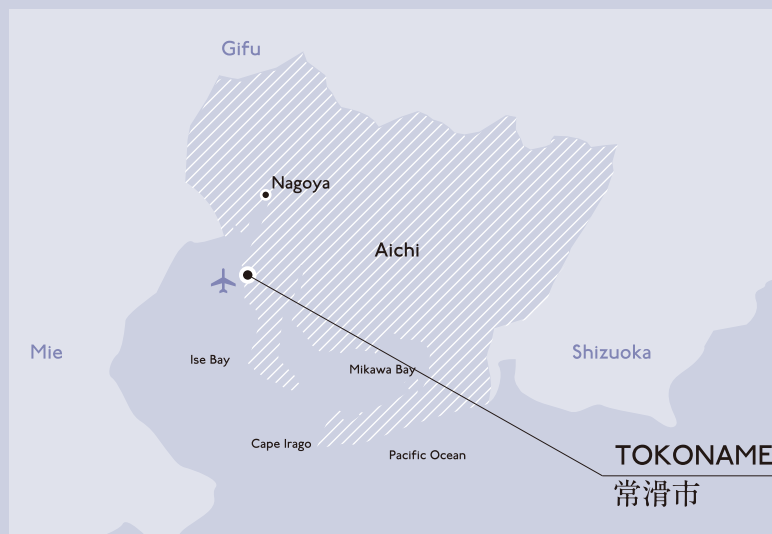
TOKAI ARCHITECT CONVENTION

11/9-10-11



# 環る

JIA 2023  
TOKONAME  
TOKAI ARCHITECT CONVENTION  
11/9-10-11



## テーマ「環る」

地球環境の変化は大きな災害を呼び、国際情勢や経済環境の変化により、新たに生まれる価値は有用な過去までも消し去り、時に地域や人々のつながりまでも壊してしまいます。これは人為によってまわり、めぐっているとも捉えられます。同じところにかえることができないとすれば、今、必要とされるのは、地域や街や人々を**快復させる**力なのかも知れません。

開催地「常滑(とこなめ)」は、六古窯の一つで、焼き物の世界的産地でした。産業構造の変革により役割を終えた煙突や窯が壊され、往時の風景は消えつつあります。この街が、この地が育んだ文化が、過去を継承しつつ、**よみがえる知恵**を、ここ「常滑」を舞台に、日本から地球へと拡げて考えてみましょう。

## JIA建築家大会2023東海in常滑 大会プログラム概要

### 本大会 11月9日【木】から11日【土】

テーマ「環る」プラスに転じて復活させる力を考える3日間。  
11/9: シンポジウム、各種会議、ウエルカムパーティなど  
11/10: 大会式典、メインシンポジウム、レセプションなど  
11/11: エクスカーション

### 建築家大会ウィーク 10月12日【木】から11月8日【水】

webを中心にテーマに沿った議論を各種会議や地域の人たちを交えて考える4週間。  
小規模だけど密度の濃いイベントを企画中。  
こちらの企画は、各支部からのアイデアを受け付けます。

### 会場について

大きく3つのエリアで構成しています。

#### 1. メイン会場周辺エリア

##### ■常滑市民文化会館

各種シンポジウム、大会式典、エクスカーション(空港島)など。

#### 2. やきもの散歩道エリア

##### ■常滑の産業繁栄の痕跡を体験できるエリア

旧青木製陶所、旧丸利陶管など常滑窯業の跡地をつかった会場。  
各種会議、ミニシンポジウムなど。

#### 3. 陶芸研究所・INAXライブミュージアムエリア

##### ■常滑の文化と歴史が学べるエリア

堀口捨己作品「陶芸研究所」当時のままの姿を残しています。(登録有形文化財答申中)  
INAXライブミュージアムは窯のある広場では陶管の窯と煙突が保存。(登録有形文化財・近代化産業遺産) ウエルカムパーティや各種会議、ミニシンポジウムなど。

プログラムの詳細は決まり次第ホームページなどでお知らせします。



堀口捨己「陶芸研究所」

主催 公益財団法人 日本建築家協会  
お問合せ 公益社団法人 日本建築家協会東海支部  
名古屋市中区栄4-3-26 昭和ビル  
shibu@jia-tokai.org